

## ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(1/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2024年1月25日
- 事業所・事業				
2	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	株式会社アイフォーカス
		法人番号		2011501020673
3	事業所等の概要	設立年月日	必須	2015年6月22日
4	事業所	事業者の本店所在地	必須	東京都千代田区神田神保町1-24-1(〒101-0051)
		事業者ホームページ		<a href="https://i-focus.co.jp/">https://i-focus.co.jp/</a>
5	事業の概要	事業者の主な事業の概要	必須	先端IoT・AI技術を使うデバイス・製品の開発、製造、販売から、アプリケーション、プラットフォーム、クラウドサービス、アルゴリズム、システムの導入・運用までを総合的に提供し、お客様のニーズに合わせるトータルソリューションビジネスを行なっています。
- 人材				
6	経営者	代表者氏名	必須	青山 望
		代表者経歴(生年月日、学歴、業務履歴、資格等)	選択	・中国ハルビン工業大学卒 ・銀行システム基盤アーキテクチャーの設計、フレームワークの構築、システムの設計・開発 ・AIプラットフォームの設計開発、IoT製品のデザイン・開発
7	役員	役員数	選択	3名
8	従業員	従業員数	必須	21名
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	必須	314,993,989円(2023年5月期)
10		経常利益	選択	
11		資本金	必須	30,000,000円(2024年1月現在)
12		自己資本比率	選択	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	選択	
15	上場の有無	株式上場の有無と、「有り」の場合は市場名	選択	
16	財務信頼性	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による計算書類等の作成、③「中小会計要領」の適用に関するチェックリストの活用、④監査役による監査、⑤いずれでもない	選択	④監査役による監査
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択

(注)必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願いま

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(2/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- 資本関係・所属団体					
18	資本関係 株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	代表取締役(青山 望) 80% 永井 正行 5.8% 王 祥民(社員持株会) 14.2%	
19	所属団体 所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択		
- コンプライアンス					
20	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択		
21		専担の部署・会議体	選択		
22		情報セキュリティに関する組織体制の状況	必須	有り 責任者: 青山 望 役職: 代表取締役 あり	
23	個人情報 個人情報の取扱い	個人情報の取扱いに関する規程等の有無と、「有り」の場合は記載箇所	必須	事業者側に蓄積する利用者の個人情報は、このアプリケーション内での用途(顧客管理)でしか利用しないと利用者に断って合意が得られたところでユーザ登録する。	
24	守秘義務 守秘義務契約	守秘義務に係る契約又は条項の有無	必須	有り	
		守秘義務違反があった場合のペナルティ条項の有無		有り	
25	従業員教育等	従業員に対するセキュリティ教育の実施状況	必須	有り	
26		従業員に対する守秘義務等の状況	必須	有り	
27	委託	委託情報に関する開示	必須	可: 秘密保持契約の締結が条件	
28		自社の個人情報保護指針に対する遵守規定の有無	必須	有り	
		委託先(再委託先)の個人情報保護等の状況に関する情報提供の可否と、可能な場合の条件等		可: 秘密保持契約の締結が条件	
		委託先(再委託先)との守秘義務対応状況		有り	
委託先(再委託先)の管理方法	・契約による管理・定期的な報告(契約更新時)・再委託の原則禁止				
29	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	有り: 情報セキュリティ対策規程、個人情報管理規程	
30		事業継続に関する規程の整備	事業継続に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合は文書名	必須	有り: 事業継続計画書
			BCP対応計画及び運用手順等の開示の可否と、可能な場合の条件等		可: 秘密保持契約の締結が条件
31	リスク管理に関する規程等の整備	リスク管理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合は文書名	必須	有り: 文書管理規程	
32	勧誘・販売・係争に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合は文書名	必須	無し	
		係争に関する規程・管轄裁判所等、係争が生じた際の対応に関する情報を含む文書類の有無と、「有り」の場合は文書名		有り: サービス利用契約書	

(注)必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願いま

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(3/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
33		ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、「有り」の場合はそれらの文書名	必須	有り: 苦情対応マニュアル
		ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無と、「有り」の場合は文書名		有り: AAAS Watchサービス約款
-	サービス基本特性			
34		サービス名称	必須	AAASWatch Pro
35		サービス開始時期	必須	2023年4月24日
		サービス開始から申請時までの間の大規模な変更等の有無と、「有り」の場合は変更年月日(西暦)		あり 機能追加時にバージョンアップを実施しています
36	サービス内容	サービスの内容・範囲	必須	AAASWatch本体に4G通信機能搭載で双方向の通話・SMSを実現。従来製品と異なり、携帯等に接続不要なので作業の邪魔になりません。双方向通話に加え、警告アラートを自動で送信することが可能です。また、体温、血圧、血中酸素濃度、心拍を自動的に測定記録し、いつでもどこでも健康管理が行えます。さらに、GPSによる位置情報確認、暑さ指数(WBGT)を取得し、熱中症予防の指針を本人または管理者に知らせることが可能です。バージョンアップしたAAASWatch Proには、これらの機能に加えて、転倒検知機能と手首を挙げてスリープ解除機能が追加されています。そしてアプリケーションにはダッシュボード機能で全ての利用者の体調、位置情報、Watchの状態一覧ができます。アラート一覧機能などで利用者の体調が異常の場合は、すぐにアラート通知が発報され、迅速の対応により事故を軽減することが期待されます。また、利用者の情報一覧や通知機能連携といった多彩な機能をご利用いただけます。
		他の事業者との間で行っているサービス連携の有無と、「有り」の場合はその内容		あり: Google Map・Google fire baseとの連携があります。
37		サービス提供時間	必須	24時間×365日(事前に合意された事由に基づく停止は除く)
38		サービスのカスタマイズ範囲	必須	無し
39		移行支援	必須	無し
40		IoTクラウドサービス基本事項	必須	・IoTセキュリティガイドラインに準拠し、セキュリティだけでなく、セーフティにも配慮 ・信頼できるパートナーと連携してサービスを提供 ・設計段階からの安全性の作り込み
41	データ	利用	必須	・利用者の同意なく、収集したデータの二次利用を行わない。 ・同意は書面による
42		権利関係	選択	・業務目的内のデータの使用权はサービス提供者にも帰属 ・その他の権利は利用者に帰属
43	サービスの変更・終了	サービス(事業)変更・終了時等の事前告知	必須○	変更時は1ヵ月前告知、終了時は6ヵ月前に告知です。
		告知方法	必須	文書、Webサイト、電子メール、HP
44		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	有り: 他社の同等サービスへの移行支援
45	契約の終了等	契約終了時等の情報資産(利用者データ等)の返却責任の有無と、受託情報の返還方法・ファイル形式・費用等	必須	有り: 返却と消去についてサービス利用規約に記載している
		情報の削除又は廃棄方法の開示の可否と、可能な場合の条件等		可: 秘密保持契約の締結が条件
		削除又は廃棄したことの証明書等の提供		可

(注)必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。



ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(4/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
46	料金体系	初期費用額		必須	本体料金42,000円 クラウド登録手数料49,800円(初回のみ)
		月額利用額			デバイスごとの固定料金: データプラン980円/月、音声定額プラン2,480円/月+従量料金: SMS 3円/通
		最低利用契約期間			4ヵ月
47	サービス料金	解約時違約金支払いの有無	解約時違約金(利用者側)の有無と、「有り」の場合はその額	必須	有り: 利用期間:4ヶ月以上のご利用が必要です。※解約手数料:1ヶ月前連絡の場合は不要、当月解約の場合は月額1ヶ月分がかかります。 4ヵ月以内にご解約となった場合、違約金として4ヵ月のご利用料金をお支払していただきます。
48		利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、「有り」の場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り: 利用期間:4ヶ月以上のご利用が必要です。※解約手数料:1ヶ月前連絡の場合は不要、当月解約の場合は月額1ヶ月分がかかります。 4ヵ月以内にご解約となった場合、違約金として4ヵ月のご利用料金をお支払していただきます。
49	サービス稼働設定値	サービス稼働率の目標値		必須	目標稼働率: 99.99%以上
		サービス稼働率の実績値			期間: 2023年1月30日~2024年1月29日 稼働率実績値: 99.99%
		サービス停止の事故歴			期間: 2023年1月30日~2024年1月29日 事故歴: アプリケーション障害0件
50	サービスパフォーマンスの管理	システムリソース不足等による応答速度の低下の検知の有無と、「有り」の場合は、検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法		選択	クラウド管理システムにより検知、インターバル5分、問題が発生した場合、メール通知を行う。
		ネットワーク・機器等の増強判断基準又は計画の有無、「有り」の場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要			負荷分散対策を実施してます。オートスケーリング設定による自動増加。
51		IoT性能対策	大量のIoT機器からの大容量のデータが送られる場合等の性能対策の内容(委託先による対策を含む)	必須	・ロードバランサーの導入 ・ゲートウェイによるデータのフィルタリング
52	サービス品質	認証取得・監査実施	プライバシーマーク(JIS Q 15001)等、ISMS(JIS Q 27001等)、ITSMS(JIS Q 20000-1等)の取得、監査基準委員会報告書第18号(米国監査基準SSAE16、国際監査基準ISAE3402)の作成の有無と、「有り」の場合は認証名又は監査の名称	選択	JIS Q 27001 認証取得
53		脆弱性診断	脆弱性診断の有無と、「有り」の場合は、診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)と、対策の概要	選択	全サーバーに対して実施
54	バックアップ対策	利用者データのバックアップ実施インターバル		必須	Webサーバー1週間1回、DBサーバー毎日
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)			10世代
55	サービス継続	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)		必須	冗長化構成しており、利用者アクセス関連サーバに対する負荷分散
		DR(ディザスターリカバリー)対策の有無と、「有り」の場合はその概要			有り 遠隔地のデータセンターでサービスを継続できる体制を構築
56		受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	無し
57		SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本サービスに係るSLAが契約書に添付されるか否か	必須	添付される
58	契約者数	契約者数	本ASP・SaaSサービスの契約企業数等	選択	450ユーザー(60社)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(5/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
-		アプリケーション、プラットフォーム、サーバストレージ等			
59	連携	他のサービス・事業との連携状況に関する情報提供	他のサービスや事業との連携の有無と、「有り」の場合は情報提供の条件等	必須	可: 利用者の求めに応じ個別に情報提供
60	セキュリティ	死活監視	死活監視の有無と、「有り」の場合は死活監視の対象	必須○	5分
61		時刻同期	時刻同期への対応の有無と、「有り」の場合は時刻同期方法	必須	有り、クラウドNTP
62		ウイルス対策	ウイルス対策の有無	必須○	ウイルスチェック: 有り クラウドサービスよりチェック 更新間隔: 4時間
63		管理者権限の運用管理	システム運用部門の管理者権限の登録・登録削除の手順の有無	必須○	管理者権限運用管理手順有り
64		ID・パスワードの運用管理	事業者側にて、利用者のID・PWを付与する場合におけるIDやパスワードの運用管理方法の規程の状況	必須○	有り
65		記録(ログ等)	利用者の利用状況の記録(ログ等)取得の状況と、その保存期間及び利用者への提供可否	必須○	記録取得あり、3ヵ月保存
			システム運用に関するログの取得の有無と、「有り」の場合は保存期間	必須	有り 保存期間は6ヶ月
			ログの改ざん防止措置の有無	必須	有り
66	セキュリティパッチ管理	パッチ管理の状況とパッチ更新間隔等、パッチ適用方針	必須○	有り セキュリティに深刻な影響を与える重要パッチについては、ベンダーリリースから24時間以内に適用	
67	暗号化対策	暗号化措置(データベース)への対応の有無と、「有り」の場合はその概要	必須	有り MYSQL DBの透過型暗号機能を利用し、利用者単位で暗号化Keyを設定	
68	その他セキュリティ対策	その他、特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏えい対策等)	選択	無し	
-		ネットワーク			
69	センター側ネットワーク	回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
70		帯域	データ通信速度の範囲、帯域保証の有無	必須	200Mbps
71	PC側ネットワーク	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲		IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負わない
72	推奨帯域	推奨帯域の有無と、「有り」の場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有り: 10Mbps以上	
73	IoT側ネットワーク	推奨(提供)回線	インターネット、IoT専用回線等の回線の種類	必須	・LTE
			IoT機器接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲		・全責任を負う。 ・通信障害の際等には、迅速に通信事業者に対応を依頼
74	推奨(提供)帯域	推奨帯域の有無と、「有り」の場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有り: 1Mbps以上	
75	ファイアウォール	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り	
76		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知等の有無と、「有り」の場合は対応方法	必須	有り

(注)必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(6/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
77	セキュリティ	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	監視対象外(責任範囲外のインターネット回線のため)
78		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	メールアドレス、ID・パスワードによる認証、携帯電話による2段階認証
79		IoT機器認証	IoT機器のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	・ID、パスワードによる認証 ・SIMによる認証
80		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者によるなりすましサイトに関する対策の実施の有無と、「有り」の場合は認証の方法	必須	有り 認証局が発行するSSLサーバ証明書を取得・使用
81		暗号化対策	暗号化措置(ネットワーク)への対応の有無と、「有り」の場合はその概要	必須	有り SSLによる通信
82		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策等)	選択	無し
-	提供端末	端末が複数ある場合は、端末ごとに記述する			
83	機器		機器の種類、製品名など	必須	AAASWatch Pro
			主な機能		AAASWatch本体に4G通信機能搭載で双方向の通話・SMSを実現。従来製品と異なり、携帯等に接続不要なので作業の邪魔になりません。双方向通話に加え、警告アラートを自動で送信することが可能です。また、体温、血圧、血中酸素濃度、心拍を自動的に測定記録し、いつでもどこでも健康管理が行えます。さらに、GPSによる位置情報確認、暑さ指数(WBGT)を取得し、熱中症予防の指針を本人または管理者に知らせることが可能です。バージョンアップしたAAASWatch Proには、これらの機能に加えて、転倒検知機能と手首を挙げてスリープ解除機能が追加されています。
			セキュリティレベル、認証取得状況など		・レベル1(個人情報の取扱いなし)
84	IoT機器(センサー、アクチュエータ)	接続条件	接続数、設置場所などの制約	必須	無し
85		使用条件	目的外使用の禁止など	必須	・目的外の使用に対しては責任を負わない。 ・提供していない機器の接続に対しては責任を負わない。
86		ソフトウェア	組み込みソフト	必須	無し
87		物理的セキュリティ	盗難防止策など	必須	利用者責任、GPSより位置情報取得可能
88		保守・管理	保守体制、管理手法など	必須	メーカー保証1年間保証
89		セキュリティ対策	IoT機器のセキュリティ対策(初期パスワードの変更、OS等の最新化、エッジコンピュータ、ゲートウェイの導入など)	必須	無し
90	機器		機器の種類、製品名など	必須	該当なし
			主な機能		該当なし
			セキュリティレベル、認証取得状況など		該当なし
91	GW/エッジコンピュータなど	接続条件	接続数、設置場所などの制約	必須	該当なし
92		使用条件	目的外使用の禁止など	必須	該当なし
93		物理的セキュリティ	盗難防止策など	必須	該当なし

(注)必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。



ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(7/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
94	保守・管理	保守体制、管理手法など	必須	該当なし
-	推奨端末			
95	PC等 (操作端末)	パソコン、スマホ、タブレット、シンクライアント等の 端末の種類、OS等	必須	パソコン: Windows 10, 11, Mac OS 12.1以降
		利用するブラウザの種類		chrome 95.0以降
96	IoT機器(センサー、 アクチュエータ)	機器の種類、製品名など	必須	該当なし
		主な機能		該当なし
		セキュリティレベル、認証取得状況など		該当なし
97	GW/エッジコン ピュータなど	機器の種類、製品名など	必須	該当なし
		主な機能		該当なし
		セキュリティレベル、認証取得状況など		該当なし
-	ハウジング(サーバ設置場所)	データセンターを複数使用している場合は、データ センターごとに記述する		
98	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	専用
99	所在地	国名、日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東 北)	必須	日本(関東地域)
		特筆すべき立地上の優位性があれば記述(例: 標 高、地盤等)	選択	
100	耐震・免震構造	耐震数値	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用 しています。当項目は非公開です。
		免震構造や制震構造の有無		IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用 しています。当項目は非公開です。
101	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、「有り」の場合は 電力供給時間	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用 しており、UPSを冗長構成で備えています。電力供給時間は非公開 です。
102	非常用電源設備 給電ルート	異なる変電所を経由した給電ルート(系統)で2ル ート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPS を除く)	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用 しています。電源は2回線以上から引き込み、停電時でも継続し て稼働できるよう、自家発電設備及び、UPSを冗長構成で備えてい ます。
103	非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、「有り」の場 合は連続稼働時間の数値	必須	有: IaaS環境としてAWS, Alibaba cloud, Google cloudのクラウドサー ビスを使用しています。連続稼働時間は非公開です。
104	消火設備 サーバールーム内消 火設備	自動消火設備の有無と、「有り」の場合はガス系消 火設備か否か	必須	有: IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用 しています。ガス系消火設備は非公開です。
105	消火設備 火災感知・報知シス テム	火災検知システムの有無	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用 しています。当項目は非公開です。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願いま

ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの公開情報(8/8)

認定番号: IoT0005-2203, サービス名称: AAASWatch Pro, 事業者名称: 株式会社アイフォーカス

【情報開示項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
106	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用しています。当項目は非公開です。
107		誘導雷対策	誘導雷対策の有無	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用しています。当項目は非公開です。
108	空調設備	空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用しています。サーバーールームの空調は専用となり、温度、湿度は自動制御の上、24時間365日での監視を実施しています。
109	セキュリティ	入退室管理等	入退室記録の有無と、「有り」の場合はその保存期間	必須	IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用しています。保存期間は非公開です。
			監視カメラの有無		IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用しています。当項目は非公開です。
			個人認証システムの有無		有: IaaS環境としてAlibaba cloud, Google cloudのクラウドサービスを使用しています。厳格な本人認証の上、持ち込み品の制限、記録の取得などの入退室管理を行っています。
110	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	選択		
		保管管理手順書の有無			
111	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択		
-	サービスサポート				
112	サービス窓口(苦情受付・問合せ)	連絡先	電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	当社の連絡先: 電話/FAX: 03-6696-3330、03-6692-3330 Web: <a href="https://i-focus.co.jp/">https://i-focus.co.jp/</a> 電子メール: <a href="mailto:aaaswatch@i-focus.co.jp">aaaswatch@i-focus.co.jp</a>
			代理店連絡先の有無と、「有り」の場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先	必須	代理店の連絡先: 名称・所在地・連絡先はHPに掲載
113	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	月曜から金曜日、ただし祝祭日を除く 9:30-12:00、13:00-18:00	
114	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・サービス利用/操作方法、 ・障害等トラブル対応	
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール	
115	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	利用者への告知時期(1カ月前、3カ月前、6カ月前、12カ月前等の単位で記述)	必須○	1ヶ月前	
		告知方法	必須	電子メール、Webサイト	
116	サービス通知・報告・インシデント対応	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無と、「有り」の場合は通知方法及び利用者への通知時間	必須○	有り
117	セキュリティ・インシデント対応	セキュリティに関するインシデントが発生した場合の対応(通知、被害の拡大防止、暫定対処、本格対処など)	必須	・情報セキュリティマニュアルに基づく迅速な対応 ・関係部門への通知、原因の切り分け ・該当機器のネットワークからの切り離し(暫定措置)、機器の入れ替え(本格対処)	
118	定期報告	利用者への定期報告の有無(アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	有り(定期報告オプション契約を頂いた場合)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載事項の転載及び複製はご遠慮願います。